

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育原理	講義	2	宇賀神 一

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:教育の基本概念、教育の理念・歴史・思想について学び、これまで教育および学校の営みが子ども・家庭・地域にどのように捉えられ、それらとの関係がどのような変遷を辿ったのかを理解する。

到達目標

- ①教育の研究や実践にとって不可欠な基礎的・基本的な知識を述べることができる。
- ②一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境について説明することができる。
- ③教育や学習の当事者、当事者間の問題を、それらを取り巻く諸環境と関連づけて説明することができる。
- ④教育がどのような営みなのかを記述することができる。

【授業の概要】

教育とは、学習とは、いったいどのような営みなのでしょうか。この授業では、教育の本質や目的などについて、基本的な知識や概念を学んでいきます。まず、教育の研究や実践にとって不可欠だと考えられる概念や議論を、できるだけわかりやすく紹介・解説します。次に、事例をもとに、子どもの成長、おとなー子ども関係(教師ー子ども関係)などについて考えていくことによって、教育や学習という営みを全体として理解することを目指します。

授業はレジュメを用いながら、各回のテーマを中心に講義を行うとともに、必要に応じて映像資料を用います。なお、講義内容や進度は、受講生の理解度や授業態度・姿勢に応じて変更することがあります。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

事前学修課題:シラバスの熟読のうえ、現時点での教育や学校についての認識を整理する。【1時間】

事後学修課題:配布された資料を各自でまとめ、理解する。【1時間】

2. 人間の存在・遊び・学びと教育

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、教育の研究や実践にとって不可欠な基礎的・基本的に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

3. 教育の必要性と可能性

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、教育の研究や実践にとって不可欠な基礎的・基本的に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

4. 目的行為としての教育 —教育の抑圧性—

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、教育の研究や実践にとって不可欠な基礎的・基本的に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

5. 歴史のなかの教育目的

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、教育の研究や実践にとつ

て不可欠な基礎的・基本的に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

6. 教育内容の選択と組織化 —制度としての教育—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

7. カリキュラムの類型

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

8. 学習指導要領の変遷

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

9. 教育評価について

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

10. 教育にできること/できないこと —教育の限界—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、一人ひとりの子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的・社会的諸環境についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

11. さまざまな教育論と実践① —デューイなどの自由教育論—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育や学習の当事者、当事者間の問題を、それらを取り巻く諸環境と関連づけて考察する視野を養う。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

12. さまざまな教育論と実践② —イリイチなど脱学校化論—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育や学習の当事者、当事者間の問題を、それらを取り巻く諸環境と関連づけて考察する視野を養う。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

13. 教育問題を考えるヒント① —能力と共同性—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育がどのような営みなのかを体験する。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

14. 教育問題を考えるヒント② —子どもの育ちと地域—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育がどのような営みなのかを体験する。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

15. 試験およびまとめ

事前学修課題: 前回までの授業のレジュメをふりかえり、理解を深める。【1時間】

事後学修課題: まとめの内容をふりかえる。【1時間】

【学習のあり方】

教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自身の行動が子どもに対して善悪交々の多大なる影響を与えることを自覚すること。その上で、子どもが育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。

すべてに出席するのが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずそのときに解決する習慣をつけましょう。

【成績評価】

課題提出などを含む授業への参加態度(20%)、試験(80%)をもとに総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

【テキスト】

レジュメおよび資料を配布する。

【参考文献】

授業中に適宜指示する。

【実務経験の有無】